

第17回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時

平成24年11月16日（金） 午前10時00分～午前11時30分

2. 場 所

グリーンホール2階 大会議室

3. 出席者

（会 長）

・箕面市副市長 伊藤哲夫

（副会長）

・箕面市地域創造部長 広瀬幸平

（監 事）

・箕面商工会議所専務理事 松出末生

（委 員）

・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登

・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介

・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山哲

（代理出席）自動車事業部営業計画課調査役 瀧川文章

・みのおの交通を考える会 永田よう子

・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮

・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士

（代理出席）部長代理 松井作男

・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男

・東急不動産SCマネジメント株式会社箕面マーケットパークイノテ総支配人 友金聡

・株式会社ビバーレコートビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春

・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 黒田唯雄

・大阪府都市整備部交通道路室参事 森岡武一

・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治

・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 錦織慎

・箕面市健康福祉部長 小野啓輔

（代理出席）次長 半沢芳寛

・箕面市教育委員会事務局教育次長 中井勝次

・箕面市地域創造部活力推進室長 河原弘明

・学校法人大阪青山学園事務部経理課（地域連携室）課長 福田貴夫

（欠 席）

・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 加納陽之助（オプザバー）

・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 阪部光雄（オプザバー）

・箕面市市長政策室長 具田利男

・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦

- ・ 社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・ 阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・ 街づくり支援センターみのお 清田栄紀
- ・ 粟生第二住宅自治会防犯防災交通部長 浜本俊二
- ・ 分科会の副分科会長 井上整
- ・ 有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・ 国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 南條正幸
- ・ 箕面市みどりまちづくり部長 山田学
- ・ 大阪府箕面警察署交通課長 秋田潤一

以上、委員31名のうち20名出席、オブザーバー2名のうち2名欠席。

4. 議 題

- (1) 実証運行の状況について
- (2) 実証運行の評価について
- (3) 本格運行に向けた検討について
- (4) 今後の進め方について
- (5) その他

5. 議事要旨

- (1) 実証運行の状況について
- (2) 実証運行の評価について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○収支率が目標値である50%に達していなければ、運行取り止めに向けた議論をしなくてはならないのか。

→収支率50%については、運行取り止めを検討するためではなく、改善・見直しを図るための指標である。

○運行状況の改善を図るためには、収入と経費の両面から創意工夫をしていただきたい。

→収入については、利用促進も含めた継続的な取り組みを行っていく。一方、経費については、運行ルートや時刻表とあわせて、事業者と協議をしていく。

(3) 本格運行に向けた検討について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○見直しを行えば、経費が圧縮されると考えてよいか

→そのように考えているが、具体の経費については、事業者と協議をしていきたい。

○パターンダイヤは実現できると考えてよいか

→運行ルートの効率化により、1便あたりの時間が短縮されたため、パターンダイヤを実現できると考えている。

- 路線バスとの重複が大きい区間（新稲東－新船場北橋、栗生団地－新船場北橋）もあり、路線バスへの影響を検証している。
 - 路線バスの影響については、データから検証していきたい。
 - 市民サービスの観点から、多少の重複も認めていただけるよう、事業者には配慮いただきたい。
- 一日乗車券をぜひ実現していただきたい。
 - 運転手に負担がかかると安全面の問題もあるので、実現の可否について、発券の機械化も含め、引き続き協議していきたい。
- 福祉以外にも多様な役割を担っているオレンジゆずるバスに対して、Mバスと同様の負担額を限度とするのは適当ではないと考えられる。
 - 本格運行計画（案）の確定までには、箕面市が負担可能な範囲について明確にさせる。

（４）今後の進め方について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 休日限定の新たな実証運行について、具体的なイメージはあるのか。
 - 分科会を通じて、検討していきたい
- 休日限定の新たな実証運行期間中に見直しを繰り返していくつもりか。
 - 実証運行は1年間であるので、見直しは難しいと考えている。
- 休日限定の新たな実証運行に用いる車両はどうするのか。
 - ゆずるバスを活用する予定である。
- 休日限定の新たな実証運行については、現在のオレンジゆずるバスとは別事業か。
 - オレンジゆずるバスにおける休日運行の取り止めを補完するための別事業であり、新たな社会実験をするものである。
- 市民部会の構成員数に対して、出席者数が少ないことが気になっている。
 - 電話による出席依頼を積極的に行っている。出席できない方には、要望等を紙面で挙げていただくことも提案している。また、資料の送付を行い、情報共有を図っている。今後も、構成員への呼びかけを進め、出来る限り多くの方に議論いただけるようにしていく。

（５）その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- ８月に実施した絵画募集で寄せられた作品については、民間施設でも展示を進めていただいているので、ご覧いただきたい
- 現在、運行に利用している車両（日野 ポンチョ）については、リコールが発生している。箕面市で運行している車両に大きな問題はないと考えられるが、本日から順次部品の交換を行っている。
- 次回協議会については、12月中旬を予定している。

以上